

孤独・孤立対策推進本部（第3回）

議事要旨

1. 日時：令和7年5月27日（火）8：45—8：55

2. 場所：総理大臣官邸3階南会議室

3. 出席者：

石破 茂	内閣総理大臣〔本部長〕
林 芳正	内閣官房長官〔副本部長〕
三原 じゅん子	内閣府特命担当大臣〔副本部長〕
あべ 俊子	文部科学大臣
小泉 進次郎	農林水産大臣
坂井 学	国家公安委員会委員長
伊東 良孝	内閣府特命担当大臣
穂坂 泰	デジタル副大臣（代理出席）
富樫 博之	総務副大臣（代理出席）
高村 正大	法務副大臣（代理出席）
仁木 博文	厚生労働副大臣（代理出席）
大串 正樹	経済産業副大臣（代理出席）
高橋 克法	国土交通副大臣 復興副大臣（代理出席）
中田 宏	環境副大臣（代理出席）
西野 太亮	内閣府大臣政務官（代理出席）
友納 理緒	内閣府大臣政務官（代理出席）
松本 尚	外務大臣政務官（代理出席）
土田 慎	財務大臣政務官（代理出席）
金子 容三	防衛大臣政務官（代理出席） ほか

4. 概要

（1）「孤独・孤立対策に関する施策の推進を図るための重点計画」改定案について

（三原内閣府特命担当大臣）

ただ今から、「第3回孤独・孤立対策推進本部」を開催いたします。

まず、議事の「孤独・孤立対策に関する施策の推進を図るための重点計画」改定案について、資料1に沿って御説明いたします。

この「重点計画」は、孤独・孤立対策推進法に基づき、昨年6月に定めたものですが、重点事項を着実に推進しつつ、現在直面している課題や、中長期的な課題に的確に対応するため、有識者会議等の意見も踏まえ、改定するものです。

改定案の検討に当たっては、孤独・孤立対策推進会議において、関係府省庁の取組状況を確認し、地方公共団体・NPO等からの意見を聴取いたしました。

改定案について御説明いたします。

まず、①のところですが、現行重点計画の「特に重点を置いて取り組むべき事項」について、地方公共団体への伴走支援やNPO等の取組支援などの取組を強化し、引き続き重点的に推進することとしております。

次に、②のところですが、現在直面している課題や中長期的な課題等への対応の観点から、今般、新たに2点、重点事項に盛り込んでおります。

まず、小中高生の自殺者数が過去最多となっているという課題に関連し、こどもや若者の家庭や学校以外の多様な居場所づくりなど、こども・若者の孤独・孤立状態の予防のための取組を推進することとしております。

続いて、中長期的な課題としては、今後の単身世帯・単身高齢世帯の増加や、それに伴う孤立死の増加が見込まれます。

こうした単身世帯化に伴う課題に対応するため、関係府省庁・地方公共団体の密接な連携の下、現役世代を含めた単身者の孤独・孤立状態の予防といった観点からの居場所づくり・つながりづくり等、中長期的視野に立った取組を進めていくことといたしました。

改定案の説明は、以上です。

それでは、推進本部として、以上のような重点計画の改定案を決定したいと思います。御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

ありがとうございます。重点計画改定案が決定されました。

（２）孤独・孤立対策推進本部長（内閣総理大臣）あいさつ

（三原内閣府特命担当大臣）

最後に、本部長である石破内閣総理大臣から、御挨拶をいただきます。プレスが入室いたしますので、しばらくお待ちください。それでは、石破総理、よろしくお願いいたします。

（石破内閣総理大臣）

「孤独・孤立対策重点計画」の改定を決定いたしました。昨年の孤独・孤立対策推進法施行及び重点計画策定から1年が経過し、初めての改定となります。この度の改定では、地方自治体、NPO等への着実な支援に加え、特に次の事項を重点取組事項に盛り

込み、対策を推進することといたしました。

第一に、先週、私も三原大臣と共にこども食堂に行ってまいりました。地域主体でこどもの居場所づくりからコミュニティの再生につなげていく取組に深い感銘を受けたところであります。今後とも、こどもや若者のための家庭や学校以外の多様な居場所づくり、居場所づくりから相談支援など切れ目のない支援体制の構築、教育や福祉などの分野を横断した地域の「顔の見える関係」づくりなどに着実に取り組んでまいります。昨年、小中高生の自殺者数が過去最多となったことは極めて憂うべきことでありまして、こうした対策を更に強化をいたしてまいります。

第二に、今後の単身世帯・単身高齢世帯の増加など中長期的な課題に取り組んでいくことが極めて重要であります。単身者の孤独・孤立や社会とのつながりを失い孤立死に至ることを予防する観点からの「居場所・つながりづくり」の取組を推進いたしてまいります。

三原大臣におかれては、孤独・孤立対策及びこども政策担当として、関係大臣と密接に連携をしながら、重点計画に沿った取組を、中長期的視点に立った取組と併せて強力に推進するようにお願いをいたします。どうぞお集まりの閣僚の皆様方も三原大臣の取組にご支援を賜りたいと心よりお願いを申し上げます。

関係大臣におかれましては、「若者自殺危機対応チーム」の設置促進や学校での取組の強化、高齢者等終身サポート事業の適正な利用促進、生活や居住に困難を抱えておられる方々への支援、地域共生社会の実現に向けた世代・分野を超えた連携など、関連する施策に引き続き着実に取り組むようお願いをいたします。

孤独・孤立の問題は、人生のあらゆる段階で誰にでも生じ得る問題であり、あらゆる政策に孤独・孤立対策の視点を入れることが極めて重要であると考えております。地方公共団体やNPO等の皆さんと手を携え、政府一丸となって対策に取り組んでいただきますようお願いをいたします。以上です。

(三原内閣府特命担当大臣)

石破総理、ありがとうございました。それでは、プレスの方は御退室ください。以上をもちまして、第3回孤独・孤立対策推進本部を終了いたします。

(以上)